

授業で考案した「道の駅を活用したバスツアー」を、公開講座で実現！（マスコミュニケーション学科）

マスコミュニケーション学科では、H27年度からの観光分野の導入以来、県内外の自治体と連携した授業を積極的に勤めています。2年生科目の「地域資源論」では、今や「地方創生の核」と言われるほど注目されている「道の駅」に注目し、その豊かな資源力と周辺の観光スポットを活用した「道の駅のバスツアー」考案をテーマとしています。H29年度は広島県・島根県・山口県の県境周辺の道の駅を現地調査しました。中でも広島県安芸太田町に所在する道の駅「来夢とごうち」は学生の人気を集めました。学生達が考案したツアー内容を基に、大学の公開講座として多くの地域の皆様に安芸太田町の魅力を知って頂きたいと企画しました。

安芸太田町は人口5897人、高齢化率49.5%（H30.12月現在）、県内で最も人口が少なく高齢化率が最も高い自治体です。ですが安芸太田町は豊かな自然と景観、そして地元で継承され続けられる多彩な文化に触れることができる大変魅力的な里山です。ガイド付きの森林セラピー体験、井仁の棚田（日本棚田100選に認定）訪問、平均年齢80歳以上の地元のおばあちゃん達が開発した、祇園坊柿とホワイトチョコのコラボスイーツ「チョコちゃん」（日本最大級の全国お土産コンテスト2015で準グランプリ受賞）の生産工場見学、そして地元の食文化が生んだご当地B級グルメ「鉄板漬物焼きそば」の講話を聴きながらの食体験、と地元との交流も満載です。H31年度は11月10日（日）に実施します。学生達がガイド役です。多くの皆様のご参加をお待ちしています。



https://tabelainjya.com/archives/yamagata1/post_3817/（チョコちゃん）

<https://www.hiroshima-kankou.com/spot/955>（つけもの焼きそば）

幼教生と地域がつながるボランティア活動（幼児教育科）

今年度の幼児教育科は、「保育者」を目指す学生達が日々の学びをふまえ、①主体的にボランティア等の課外活動に参加し、社会人（保育者）としての基礎的スキルを高めること、②課外活動への参加を通して、社会貢献について考え、自ら行動できる人材に成長することを目的とし、これまで以上にボランティア活動への積極的な参加を推奨してきました。今年度、多くの学生達が参加させて頂いたボランティアでの活動を紹介いたします。

広島グリーンアリーナで開催された「子育て応援団すこやか2018（平成30年5月）」では、2年生の久保田ゼミの学生が巨大なメインステージの壁面やブースの壁面を作成しました。

この日に向けて4月からコツコツと作業を進め、当日はこの壁面をバックに1年生も比治山カラーのポロシャツで来場したお子さん達のお世話を頑張りました。また、近隣の牛田公民館で開催された「ふるさとまつり（平成30年5月）」では、2年生の菊野ゼミの学生が集まった子ども達に人形劇を披露しました。人形劇の後にはゲームや手遊びをしたりと、日頃の授業や実習で身に付けたスキルを実践しました。その他にも、広島ドラゴンフライズのバスケットボールスクールでの補助、広島ユニセフ協会や広島市東区役所のイベントなどにも参加し、これらのボランティア活動を通して、他者や地域とのつながりを大切に、常に社会を意識しながら大学での学びを実践することができた良い経験ができました。今後も、幅広いボランティア活動への参加を通して、地域と積極的につながり、広い視野を持った社会人、保育者を目指します。

子育て応援団 すこやか2018
5月19日（土）・20日（日）@広島グリーンアリーナ

久保田ゼミの2年生がステージアースの壁面を作成！

実は4月からコツコツと作業を進めていました…

2年生作成の壁面をバックに比治山ポロシャツの1年生も活躍しました！

ふるさとまつり「ふれあいちっこランド」
5月20日（日）@広島市東区牛田公民館

菊野先生ゼミの2年生が集まった子どもたちに人形劇を披露しました！

「うんとこしょ！どっこいしょ！」でおなじみの「おおきなかぶ」

広島ユニセフ協会「2018ピースアクション in ヒロシマ」
8月5日（日）@広島グリーンアリーナ

ユニセフの活動紹介

魚釣りや支援物資について学べるゲーム

広島ユニセフ協会の方と記念撮影！感謝のお言葉を頂きました。貴重な経験、ありがとうございました！

夏の夜、祈りと平和の夕べ
8月5日（日）@広島駅エキキタエリア

東区役所地域おこし推進課主催イベント

1年生の8人がガイドツアーのスタッフとしてお手伝い！

男運の方々にヒマワリの花をプレゼントしておもてなし！

上手く隠せたかな…？

『特殊詐欺防止啓発キャンペーン（総合生活デザイン学科）』～「生活達人チャレンジプログラムⅡ」の取り組み～

昨年に続き、フード系列及び教職課程に学ぶ2年生の学生が広島県警から依頼された『特殊詐欺防止啓発キャンペーン』に取り組みました。事前に「特殊詐欺」について、社会臨床心理学科の深田成子先生の講演を聞き、「特殊詐欺被害」の実態を知るとともに、身近な事例からその防止方法をグループで話し合いました。

学生たちは、空いている時間を利用して5種類（チョコ、抹茶、ごま、アーモンド、プレーン）のクッキー約1500枚を焼きました。そして学生たちが考えたスローガン「**まず疑い、すぐに相談!**」を入れたオリジナルデザインのシールを貼付して、約200袋を準備しました。

キャンペーン当日はちょうど「年金受給日」に当たる10月15日でしたので、お年寄りも比較的多く感じられました。会場である安佐南区の商業施設「イオンモール広島祇園」で、学生たちが作った「特殊詐欺防止クッキー」を通行される方に配り、特殊詐欺防止を呼びかけました。

活動の最後に、広島市安佐南警察署長より感謝状の贈呈がありました。

参加した学生のひとり、安佐南防犯組合連合会の会長さんのあいさつにあった「こうやって若い人が取り組みに参画してくれて、頼もしく思い感動しています」に対して「今から大学を卒業して、社会に出ていく自分たちの存在価値を改めて認識しました。」と感想を寄せています。

今回、学生が取り組んだことは小さなことですが、社会のさまざまな人と共生していくことの大切さを感じられた取り組みとなったようです。



開会式で趣旨説明



配付したクッキー



小さな子どもさんに…



買い物に来られた方に…



キャンペーンに参画した方で「特殊詐欺防止」を願って…

教員免許状更新講習の開催

平成30年8月20・21日、教員免許状更新講習を開催しました。当日は、夏の暑い中、幼稚園、小学校、中学校、高等学校と、幅広い学校種の先生方67名に参加をいただきました。

本学で開催した講習は、1日目が「大学で学ぶ児童・生徒の教育の最新事情や支援方法に役立つ教育学、心理学、脳科学の研究動向」と題し、福伊智准教授からは近年の教育政策の動向の解説、林武広教授からは教員としての教育観・子ども観を問い直す講座がありました。また、吉田弘

司教授、石井眞治教授は、最新の心理学の知見を活かした指導法について講座を行いました。2日目は「学校を巡る近年の状況の変化」と題し、溝部ちづ子教授による学習指導要領の改訂に伴うこれからの学校教育の在り方についての講座、酒井研作准教授による「チームとしての学校」をテーマにしたこれからの学校組織に関する講座が行われました。両日も熱心に受講していただき、特にグループワーク等では学校種の枠を超えて活発に議論が交わされる様子が印象的でした。2日間の講習が、先生方の資質能力の向上に少しでも貢献できていれば幸いです。

本学では、教職指導センターを中心に、「比治山大学・比治山大学短期大学部 教職課程研究」の発行など、教員養成に関わる研究を積極的に進めています。教員免許状更新講習は、これらの成果を地域に還元する重要な機会です。平成31年度も開催に向けて準備を進めています。多くの先生方のご参加をお待ちしております。



思い出絵本作り

広島リビング新聞社より、同社主催「子ども未来はっけん大学」の授業提供の依頼をいただき、8月24日に本学の教室で「思い出絵本作り」を実施しました。参加者は小学3～6年生とその保護者の15組33名でした。準備した授業は、家族の思い出を四場面にし、うち一場面を作るというものです。楽しく作業しながら発見を増やし、思い出が深まって、よりいっそう大切になるようにと考え、研究対象である国語科の「書くこと」の指導に、図画工作科の「造形遊び」である、紙をちぎって貼る活動を新たに組み入れました。

まずは「柔軟に考える」学習です。自由な線や形に短い言葉などを添えると、新しいイメージや意味が生まれることを体験しました。次は「言葉を使って考える」学習です。持参した「思い出の話まったモノ」にシールを貼りワークシートの言葉を使って親子でおしゃべりし、思い出の様々な内容に気づいていきます。どの子どもも笑顔いっぱいにしてワークシートにメモを増やしていきました。最後は「造形しながら考える」学習です。一場面の絵を作りながら思い出を深めます。子どもたちは、同色の紙を小さくちぎって重ねたり紙にしわを作ったりして、さまざまな思いを工夫して表現しました。授業終了後の子どもの感想には「四場面で作れるし、気持ちの表げんができてうれしいし、家でもやりたいです。ちょう楽しかった」「これからの生活に生かせそうで良かったです」などとありました。保護者からは「やり始めるとどんどん話がふくらんで



て、なかなか新鮮な作業でした。子どもはいろいろなことを考えているのだと改めて思いました」「夏休みの宿題、『思い出新聞』に今日体験して感じたことを書くそうです。いろいろな発見があったようで、参加してよかったです」などの感想が寄せられました。授業中、保育士志望の2年生5名が参加者をサポートしました。大学生の頼もしい姿も、子どもの「未来はっけん」につながればと思います。

(現代文化学部言語文化学科 井口あずさ)

公開講座「うしたカレッジ 東南・南アジアを旅する」

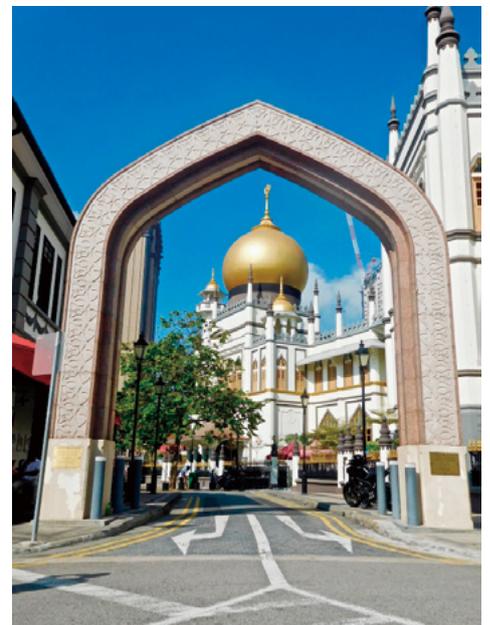
2018年5月下旬から6月中旬の土曜日、牛田公民館との連携講座「うしたカレッジ 東南・南アジアを旅する」を開講しました。これは比治山大学の外国人教員や留学生がそれぞれの国で感じてきた、アジアの歴史、文化、自然、食、人々などについて紹介する講座です。2016年、2017年にはインドネシア、フィリピン、ベトナム、カンボジア、タイを、3回目となる今回はシンガポール、北インド・ネパール、インドネシアをテーマにお話しました。

初回の講座では、シンガポールが世界の交易の中心であること、多文化を有する国であることを学習し、観光地のメインルートから少し古いシンガポールも写真を見ながら紹介しました。また、北インド・ネパールの回では、話に出てきた地方の天ぷらに似た揚げ料理で



あるパコラを試食し、食文化にも触れました。3回目のインドネシアの回では、ジャワのコーヒーを味わいながらも文化、観光の話にとどまらず、担当教員の専門分野である火山の活動についてお話ししました。

グローバルという言葉をよく耳にする昨今、受講生の方たちがこの講座により、一層アジアに興味を持ち、訪れ、多くの体験をしてくださることを期待しています。



(現代文化学部言語文化学科 David M.Mosher)

企画・創作コンテスト 高校生じぶん“オ”発見プロジェクト(平成30年度)

12回目となるこのコンテストでは、高校生の皆さんを対象に「身の回りから発信しよう！」というテーマで、「アート」「おやつレシピ」「雑貨」「わが校自慢」の4部門の作品を募集しました。平成30年度は過去最多の応募件数で、340点を超える応募の中から入賞者が決まりました。金賞受賞はありませんでしたが、銀賞が「アート」部門で3点、「おやつレシピ」部門で5点、「雑貨」部門で2点、「わが校自慢」部門で1点の合計11点となり、銅賞は33点、学校賞は4点でした。たくさんのご応募をありがとうございました。

平成30年度比治山大学研究助成「ESDを中核とした平和教育に関する研究」

地域と連携した共同研究「ESDを中核とした平和教育に関する研究～広島・長崎の相互交流をもとに～」を行っています。ESDとは「持続可能な開発のための教育（Education for Sustainable Development）」の略です。環境、貧困、人権、平和、開発などの現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。

本研究では、平成29年度から始まった広島市立幟町小学校と長崎市立山里小学校の平和交流によるESD学習の効果分析を通して、これからの平和教育の在り方を検討することを最終目的としています。

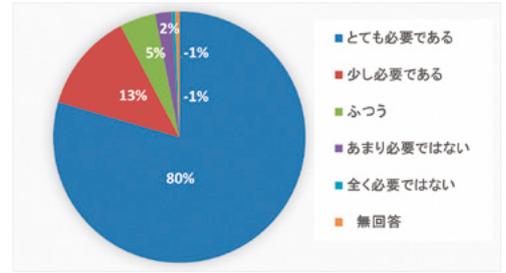
長崎市で行われた両校6年生の平和交流会では、互いの平和教育の取組を紹介し合ったり、平和を創造するための思いを語り合ったりしました。最後は、グループごとに共同の決意表明メッセージを作成しました。今後、児童のアンケート記述等を詳細に分析し、学習の成果や課題を明らかにし、これからの取組の方向性を提案していきたいと考えています。



▲平和交流会（全体会）の様子



▲決意表明メッセージの作成



▲平和学習で両市の交流は必要か？

(現代文化学部子ども発達教育学科 研究代表 森川敦子)

比治山学園は、今年、創立80周年を迎えます

学校法人比治山学園は、昭和14年の「広島昭和高等女学校（現在の比治山女子中学・高等学校の前身）」の設置に始まり、昭和41年に比治山女子短期大学を、その後順次付属幼稚園、比治山大学を設置して、今年、学園創立80周年を迎えることとなりました。

皆様のお蔭をもちまして、これまで、大学、短期大学部、中学・高等学校、幼稚園あわせて約7万人の卒業生、卒園生を送り出すことができました。

この80周年の節目に当たり、記念の事業・行事を実施していくため、「かわらない心。かわりゆく時代の先へ。」というスローガンを決めました。

「かわらない心」とは、「悠久不滅の生命の理想に向かって精進する」という本学園の建学の精神や「正直、勤勉、清潔、和合、感謝」という学園五訓のことであり、「かわりゆく時代の先へ」とは、急速に大きく変容していく社会に対し、90周年、100周年を見つめ、いつの時代も常に輝く人材を送りだし続けるという決意でもあります。

このスローガンの下、80周年記念事業として、新しい教育に対応すべく、牛田キャンパス3号館の建替えや11月の広島市内での記念式典、祝賀会の開催などを実施して参ります。

80周年を契機に、今後もなお一層、地域や時代の要請に応えるため、社会の変化に対応した改革を推進し、社会に貢献できる人材の育成に努めて参ります。

この間、本学園に対し、地域の皆様をはじめ多くの方々からご支援、ご協力を賜りましたことに厚くお礼を申し上げますとともに、引き続き、格段のご指導、ご鞭撻、ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

あ と が き

「比治山大学生涯学習・地域連携センター便り」(第4号)をお届けいたします。平成30年度は「教員免許状更新講習」をそれまでとは違うかたちで開催いたしました。公開講座、地域連携活動もご参加いただいた方のご意見をうかがいながら、企画の検討を重ねております。今後とも、本学の事業にご協力くださいますようお願いいたします。

[比治山大学ホームページ](#) > [地域一般の方へ](#) > [生涯学習・地域連携センター](#) に掲載しております。こちらもご活用ください。
【教員研究ガイド】 本学教員の研究内容を公開しております。
【公開講座】 2019年度の公開講座案内を掲載しています。



比治山学園創立80周年記念シンボルマーク・スローガン

かわらない心。
かわりゆく
時代の先へ。



比治山大学 比治山大学短期大学部

生涯学習・地域連携センター

〒732-8509 広島市東区牛田新町4丁目1-1

TEL : 082-229-0121

FAX : 082-229-5100

<http://www.hijiyaama-u.ac.jp/general/chiikirenkei/>

E-mail : shougai@hijiyaama-u.ac.jp